

名前は荒美有紀さん。彼女は、本学園の中学校に入学、吹奏楽部に所属し、友人も多く楽しい学校生活を送っていました。ところが高校2年の終わり頃、音が聞こえづらくなるに伴つて身体の不調を訴えるようにな

ある教え子の話

明治学院大学の文学部フランクス文学科に合格、笑顔で報告に来てくれたことを覚えてています。

ところが、残酷にも病気は容赦なく進行し、大学2年生の時、視力を失い、さらに大学4年生の時に聴力から

酷な運命を背負つた彼女を救つたのは、彼女のことを心から思つてくれる家族や友人、そして楽しかつた学校生活の思い出でした。

さらに福島智さんという人を知つたことも、彼女が一步踏み出せた大きな要

突き動かしたもの

事の進行館月
えないと受けられる支援あるのだということを知
てもらえないのです。そ
が私の仕事だと思ってい
ので、できることはやり
いと思っています。支援
あればどのようなことで
できる可能性があるので

四〇

を紹介します。彼女にとつて生きていること 자체が感謝であり、喜びであったのです。だからこそ懸命に日々を生きる姿勢を表した言葉です。

この2年近く、皆さんは様々な制限がある中での生活で多くのものが失われても、挫けずよく頑張つきました。改めて学校生活を含め日常生活の大切さに気づいたり、安全、健康、そして命に関して考える機会を得たのではないでしようか。思つてもみない困難に出くわし、それに打ち勝つために強い心を持って歩んで行かねばならない時があります。今日は、このような状況において様々な苦しみを抱えている人たちに、一人の教え子の話をします。

なつたのです。病院で検査した結果、「神経線維腫症Ⅱ型」という脊椎等の神経に腫瘍ができるという病気であることが判明します。3年生になり入退院を繰り返し、無理はできない中、勉強で遅れたくないと言ふ彼女のため、同級生たちが授業ノートを作成、私はそれを持って病院に通いました。彼女の学習への熱意と同級生たちの助けもあり、高校を卒業します。闘病中も彼女は、フランス語を勉強したいという気持ちは持ち続け、調子が良い時も音楽を二丁目、そ後筋力全

太平台の秋



困難に立ち向かう君たちへ

全校朝礼校長講話



國學院大學
栃木中学高等学校
〒328-8588
栃木市平井町608
☎(0282)225511
校報編集部

青木一男學校長

をも失い
ます。身
体も不自
由を感じ
るようにな

〈12月の行事予定〉

- 11月30日～3日 期末試験(高)
- 1日～3日 期末試験(中)
- 1日 美化の日(中・高)
- 4日 G T E C(高)
第6回入試説明会(高)
- 10日 稅教室(中)
- 11日 第2回入学試験(中)
- 12日 第7回入試説明会(高)
- 13日 ボキャブライ
コンテスト(中)
- 15日 1年キャリア講演会
(高)
- 17日 成績判定会議(中・高)
- 17～20日 三面面談(中・高)
- 20日 終業式・壮行式(高)
終業式(中)
- 21～25日 冬期講習会(中・高)

因の一つでした。福島さんは、幼少期に両目を失明。18歳の時に聴力も失います。それでも、努力で重複大学へ入

が運んだ訳ではありません。マスクミングが「障害者」をステレオタイプに取材してきました。ある記者に「私は誰かを感じさせるために生きているんじゃない」と言つたところからいって、

懸命に生きる

それを伝えていきたいです。彼女を突き動かしているものは、「誰かのためになりたい」という気持ちであり、それが彼女の生きる支えであり、生きる意味なのです。

全校朝礼

四十周年記念館にて



1年生が集う

11月1日(月)、四十周年記念館及び、各教室にて全校朝礼が行われた。新型コロナウイルス感染予防のため、1年生のみが四十周年記念館に集まり、2、3年生は各教室でのオンラインという形で実施された。四十周年記念館での全校朝礼は令和2年2月振りで、従来通りの実施とはならぬが、コロナ禍前の学校生活が少しずつ戻ってきた。

全校朝礼は校長講話(詳細は1面に掲載)で青木学長より、生きる意味・目的を持つことの大切さが伝

えられ、その後、各種表彰が行われた。

○書道部
○ラグビー部

○ミュージカル部
(以上の詳細は710号に掲載)

○第三十二回伊藤園お~いお茶新俳句大賞
(詳細は本号3面)

○1学期出席率優秀クラス
N1年1組 S1年2組

T1年3組 B1年1組
B2年1組 B2年4組

S3年1組 T3年3組
A3年1組 B3年1組

B3年2組 B3年6組

人権教育

10月27日(水)5限目のL

H Rの時間に人権教育が実施された。本校では、人権問題の実態を学び、またそれを自分の問題として捉え

れて、「3年生は差別的な社会をめざして」という

各学年ごとのテーマのもと

ホールームルームにおいて、グループワークなどを通して、生徒たちは真剣に問題と向

け合つた。



グループワークの様子

国柄チャレンジ

10月24日(日)、本校キャ

ンパスならびに学園教育セ

ンターを会場に、中学3年

生を対象とした「国柄チャ

レンジ」が実施された。こ

の試験は、入試の雰囲気を

体験しながら、学力到達度

を判定できる学力診断テスト

である。本年度も感染症

対策のため、検温・消毒を

徹底しての実施となつた。

オープンスクール

11月6日(土)にオーブンスクールが実施された。普段の授業を中学生や保護者の方に見ていただきイベントである。

参加者からは「グループ

授業があり、興味を持った

授業の中の真剣な取り組み

や休み時間は友達と楽しむ

様子など、雰囲気がわかつ

て良かつた」という感想をいただいた。



学園教育センターでの受験の様子

例年より多くの中学生が受験し、緊張しながらも真剣にテストに取り組んでいた。

考ることで、人権意識を高めることを目的にし、毎年人権教育を実施している。

1年生は「人権意識の向上といじめについて」、2年生は「同和問題の解消に向

けて」、3年生は「差別のない社会をめざして」という

各学年ごとのテーマのもと

ホームルームにおいて、グ

ループワークなどを通して、生徒たちは真剣に問題と向

け合つた。

11月1日(月)、四十周年記念館及び、各教室にて全

校朝礼が行われた。新型コロナウイルス感染予防のた

め、1年生のみが四十周年記念館に集まり、2、3年

生は各教室でのオンライン

という形で実施された。

四十周年記念館での全校朝

礼は令和2年2月振りで、

従来通りの実施とはならぬ

が、コロナ禍前の学校生

活が少しずつ戻ってきた。

全校朝礼は校長講話(詳

細は1面に掲載)で青木学

長より、生きる意味・目

的を持つことの大切さが伝

め、1年生のみが四十周年記念館に集まり、2、3年

生は各教室でのオンライン

という形で実施された。

四十周年記念館での全校朝

礼は令和2年2月振りで、

従来通りの実施とはならぬ

が、コロナ禍前の学校生

活が少しずつ戻ってきた。

全校朝礼は校長講話(詳

細は1面に掲載)で青木学

長より、生きる意味・目

的を持つことの大切さが伝

め、1年生のみが四十周年記念館に集まり、2、3年

生は各教室でのオンライン

という形で実施された。

四十周年記念館での全校朝

礼は令和2年2月振りで、

従来通りの実施とはならぬ

が、コロナ禍前の学校生

活が少しずつ戻ってきた。



須釜さん 伊藤さん 木村さん

出場者	タイトル
伊藤 媛香 (N 2年1組)	It is time now to think about Peace. 今こそ平和について考える
木村莉里花 (T 2年2組)	Do clothes make the person? 服は人(世界)を作れるか
須釜 愛 (T 2年2組)	Bigger than that. この困難を乗り越えて

今年度はコロナ禍の中でDVDに撮影したスピーチを視聴し審査する形での開催となつた。発表時間が4分30秒～5分30秒のため、かなりの量の英文を暗唱し、自分の思いを込めてスピーチをする。約2週間という練習期間の中、日本人教師と外国人講師の指導の下、昼休みや放課後に毎日練習をし、自分の考え方を堂々と伝えた。しかし、先生方のご指導、仲間の励ましのお想を掲載する。

「今年はビデオ審査という初めての形式で、文章量も多いため、なかなか思うようなパフォーマンスができず焦りを感じることもありました。しかし、先生方のご指導、仲間の励ましのお想を掲載する。

私は英語のスピーチを通じて、継続することの大切さと仲間と助け合うことの大切さに改めて気づきました。

共に同じ目標に向かつて一生懸命になる仲間がいたことが大きな支えになり、英文の暗記や毎日の練習を乗り越えられ、本番で自信を持ったスピーチできました」

（須釜 愛）

自分の思いを英語にのせて

栃木県高等学校 英語弁論大会

国際高校生選抜書展に初入賞（書道部）

書のインターハイ”と

“書の甲子園”と呼ばれる非常にハイレベルな大

会である国際高校生選抜書展に、本年は13名が出品し、

【第30回】

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選

下条 真生(A3年)

柿沼 志帆(A3年)

尾林 昂太(A2年)

小岩 聖尚(B2年)

五十嵐也葉(T2年)

三浦 春奈(S1年)

秀作賞

菅沼 淳(A3年)

入選



佐野市運動公園陸上競技場。
9年連続、佐野日大高との対戦となつた。前半6分、
ラインアウトからプロツ
ドライビングモールで押し
込み、フッカ・吉田温広
選手(B3年)がトライを決
めた。攻撃の手を緩めるこ
となく、後半1分にはセン
タ・千葉央貴選手(B3
年)がディフェンスを振り
切りインゴールに飛び込む
と、後半から出場したセン
タ・大友伴介選手(B3
年)、ウイング・石野慎之
助選手(B3年)が連続トライ
を奪つた。19分にはフラン
カ・尾池政人選手(B
2年)が相手のキックをチ
ヤージし、そのままトライ
を決めるなどし、15トライ
を犯さず守りきり、99対0
で完封した。

12月27日(月)に東大阪市
花園ラグビー場で開幕する
全国大会に出場する。

ラグビー部

▽結果

本校	7	6	0	0	0	47	8	6	0	0	52
T G PT PG DG	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

バレーボール部

▽結果

本校	7	6	0	0	0	47	8	6	0	0	52
T G PT PG DG	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



第74回全日本バレーボー
ル高等学校選手権大会栃木
県予選会決勝、11月7日
佐野市運動公園陸上競技場。
試合会場には居られなか
つたが、選手主体で活動で
きるような組織力を高めて
きたので心配はなかつた。
田中大誠選手(B3年)
(バイスキャプテン)
チームの代表として、誇
れるプレーを心掛けた。
飯野和音選手(B3年)
(バックスリーダー)
守備を徹底し、無失点に
抑えることを意識した。
吉田温広選手
(フォワードリーダー)
伝統のスクラムとドライ
ビングモールをより強くす
るために、日々の戦術を考
えた。ただ勝つだけでなく
「規律」を守り、ノーベナル
ティゲームを意識した。

3セットを僅差で取れ
3対1で優勝を収めた。
来年1月5日(水)から東
京体育館で開幕する春高バ
レーに出場する。

△結果

本校	3	25	25	25	29
△	25	25	23	31	
△	22	23			1
△					宇都宮

大塚月楠主将(B3年)
インターハイ予選での敗
戦から今日まで自分たちが

与えられるプレーをしたい。
(夏以降に、正セッターと
なり攻撃をけん引)
試合に出ることのできな
い3年生の分まで頑張ろう
という気持ちで臨んだ。支
えてくれた人たちに感動を

△結果

大塚月楠主将(B3年)
宇都宮文星女子高
女子高

齊藤菜月副主将(B3年)
強化してきた守備力を武
器に全員が自信を持つてブ
レーできた。気持ちの面で
安定するような練習をして
きたので、苦しい場面はあ
つたが、持っている力を発
揮することができた。



個人戦優勝の3人
(左から増渕、藤井、落合)

柔道部

◇団体戦

11月5日(金)宇都宮ユウ
ケイ武道館において県高校

新人スポーツ柔道大会の団
体戦が行われた。

結果は男子は決勝で白鷗
足利高と対戦し1-1と勝
利数で並んだが、内容差で
惜しくも優勝を逃し2位と
なった。女子は決勝で足利
短大付高と対戦し0-1の
僅差で敗れ、2位となつた。

△個人戦
男子2階級女子1階級で
優勝

個人戦は11月6日(土)同

会場で行われた。結果は次
の通り。

【男 子】

△90kg級決勝
落合啓太選手(B2年)と
片山涼選手(B1年)の同門
による決勝戦となり、一進
一退の攻防の末、送り足払
いで落合選手が優勝した。

▽100kg超級決勝
藤井達也選手(B2年)が
白鷗足利高の斎藤選手と対
戦し、藤井選手が粘り強く
攻め続けた結果、優勢で優
勝した。

サッカー部

令和3年度第100回全国高
等学校サッカー選手権大会
栃木大会が、10月30日(土)
から県内各会場で行われた。
本校は準々決勝に駒を進
め、11月3日(水)、下野市

た。

女子団体は1回戦に佐野
日大高と対戦し、3-0で

【女 子】

▽57kg級決勝
増渕さくら選手(B1年)
が足利短大付高の国分選手
と対戦し、終始攻めの姿勢
を貫いて合わせ技の一本勝
ちで優勝した。

△個人戦
男子2階級女子1階級で
優勝

令和3年度第100回全国高
等学校サッカー選手権大会
栃木大会が、10月30日(土)
から県内各会場で行われた。
本校は準々決勝に駒を進
め、11月3日(水)、下野市

た。

女子団体は1回戦に佐野
日大高と対戦し、3-0で

テニス部

令和3年度栃木県高等学
校新人テニス大会が10月30
日(土)～31日(日)、栃木県
総合運動公園で行われた。

男子団体は1回戦に佐野
日大高と対戦して3-0、2回

戦は小山城南高と対戦し、
3-0で勝利した。続く試
合で第3シードの作新学院
高と対戦するも0-3で敗
れ、ベスト8で敗退となつ
た。

女子団体は1回戦に佐野
日大高と対戦し、3-0で

フットサル愛好会

10月31日(日)、JFA第
27回全日本フットサル選手
権大会栃木県大会が県北体
育館で行われた。

本校フットサル愛好会は、
社会人チームである栃木シ
ティフットサルクラブとラ
ゴスの三チームによる総当
たりリーグ戦を行つた。上

位二チームの決勝ラウンド
進出をかけての試合であつ
たが、社会人との体格と技
術の差は大きく、選手たち
は全力を尽くして戦つたも
の、勝利することができなかつた。

運動部 秋の大会結果
陸上競技部 駅伝女子2位で関東へ

11月3日(水)、宇都宮カンセキ
スタジアムとちぎ
競走大会が行われた。

本大会は、優
取つた宇都宮文星女子高が
優勝。本校は最後まで食い
下がり第2位になつた。こ
れにより全国への切符を手
にできなかつたのは残念で

多くの人々の支えがあり
準優勝することができま
した。チームの結束は固く、
辛いときも仲間と励まし合
つて走り抜くことができま
した。かけがえのない国柄

の仲間に感謝します。
(A3年 福永琉妃)
昨年4位から2位に引き
上げることができます満足し
ています。今年はコロナの
影響でいろいろな制限があ
つた中、チーム一丸となつ
て意識を高めて日々の練習
に励んできた結果だと思つ
ています。

(B3年 山崎瑠杏)
大松山運動公園陸上競技場
において、佐野日大高と対
戦した。お互いシード校同
士の譲らない拮抗した試合
展開で、行き詰まる攻防が
展開された後半15分、MF
後藤颯汰選手(B2年)の先
制ゴールが決まる。その後
同点とされ延長に入。延
長後半に勝ち越し点を許し
惜しくも1-2で敗れた。

【個人試合の部】
3位 石田煌香選手(A1年)
【演技試合の部】
1位 石田煌香選手
田村彩奈選手(S1年)
個人3位以上と団体は、
来年3月20日から兵庫県伊
丹市で行われる全国大会に
出場する。

陸上競技部

勝校が12月に京都で
行われる全国大会の
出場権を得、6位までが11
月20日に宇都宮で行われる。

はあるが、関東大会への出
場が決まつた。次に、1、
4走者の感想を掲載する。

(A3年 福永琉妃)
昨年4位から2位に引き
上げることができます満足し
ています。今年はコロナの
影響でいろいろな制限があ
つた中、チーム一丸となつ
て意識を高めて日々の練習
に励んできた結果だと思つ
ています。

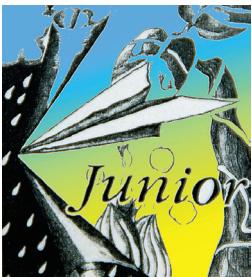
勝利したが、2回戦第2シ
ードの宇都宮海星女子高と
対戦し、0-4で敗れ、2
回戦敗退となつた。

勝利したが、2回戦第2シ
ードの宇都宮海星女子高と
対戦し、0-4で敗れ、2
回戦敗退となつた。

剣刀部



果敢に攻める



実り多き学校生活を送ろう

新生徒会本部役員も発足され、令和3年度後半がスタートした。新型コロナウイルスの全国感染者数も減少傾向にあり、これまで中止・縮小を余儀なくされていた学校行事も少しづつ実施され、生徒たちの学びの場もさらに充実したものとなっている。

や苦手科目を必死に覚える
勉学には大苦労したこと
そこには佐々木先生自身が、
会長 高久紫音(2の2)

11月2日(火)、大ホールにて全校朝礼が行われた。青木一男校長はまず初めに「こうして久しぶりに全校生徒が集つて朝礼が行えることを嬉しく思います」と述べ、校外学習やマラソン大会を予定通り実施することを報告した。

その後、「人はよく簡単にあのは頭がいいとか悪いとかの評言を口にするが、これほど皮相的言葉はない。その陰にどんなに長い努力が積み重ねられているかを考えようともしない言葉であり、裏から見れば、自分の努力の足りなさを言い訳しながら自分を慰めている態度とも受け取られる言葉である」から始まる初代高等学校長佐々木周二先生の文章を紹介した。

11月2日(火)、大ホールにて全校朝礼が行われた。青木一男校長はまず初めに「こうして久しぶりに全校生徒が集つて朝礼が行えることを嬉しく思います」と述べ、校外学習やマラソン大会を予定通り実施することを報告した。

その後、「人はよく簡単



大ホールに集う全校生徒

全校朝礼

様子を見て母親が「お前はそんなに頭が悪いのかね」と涙したこと、最後には「私は人の倍の汗を流して頑張った。頭は駄目でも努力だけは頼れるんだと自分に言は聞かせて自分の流儀で工夫し、苦心したものである。諸君の学んでいる教育は偏差値がどうのなどという物差しで測られる教育ではない。何から何まで自分の心構えの問題に帰着する教育である。言葉を換えれば、頭の問題ではなく、心の問題である」と書かれており、

市をPRするポスター「いちごー会とちぎ国体・どちぎ大会」を1年後に控え、より多くの市民に大会への参加・協力を促すための啓発活動の一環として、市内中学生を対象に、栃木市をPRするポスター「いちごー会とちぎ国体・どちぎ大会」を1年後に控え、より多くの市民に大会への参加・協力を促すための啓発活動の一環として、市内中学生を対象に、栃木

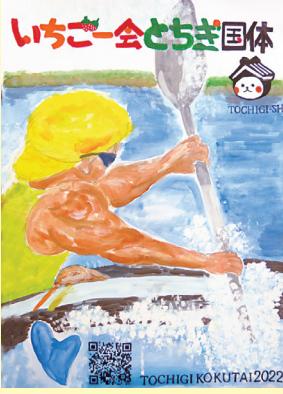
クールが実施された。
栃木市開催競技が「なぎなた、ボート、カヌー、ハンドボール」であることや、県や市のマスコットキャラクター「とちまるくん」、「どち介」の使用が可能であることなどを踏まえて生徒たちは夏休みの課題として取り

賞を果たした。
最優秀賞
近藤 凜(2の1)
優秀賞 佐藤壮一郎(2の2)
高森 亜門(2の2)
佳作 大塚 優羽(2の1)
飯島 礼惟(1の1)
(近藤凛さん談)
「カヌー選手の力強い腕の筋肉と迫力ある水しぶきを強調しました。このポスターが、ちぎ国体のホームページをチェックしていただけるよう、QRコードも手描きました。このポスターが、大会を盛り上げるためのお役に立てたら嬉しいです」。

2022とちぎ国体 「栃木市PRボスター」 本校生徒多数入賞

組み、発想
豊かな目を見
はるかに寄せ
られた。

見はる作品



最優秀賞作品
「水上の熱き戦い in 渡良瀬」

新生徒会 本部役員決定

10月29日(金)、四十周年記念館にて、生徒会立ち合い演説会が行われた。

立候補した15名の生徒たちは、公約やキャッチコピー、担任の先生を党名にするなど、政治家ながらの演説会では個々の主張を堂々と語っていた。即日選挙開票を行い、以下の生徒たちが新生徒会本部役員に決定した。



副会長 近藤 凜(2の1)
会計 平本結心(2の1)
書記 鳥羽山志(1の1)
小林 愛(1の1)
遠藤優心(1の1)
佳作 大塚 優羽(2の1)
飯島 礼惟(1の1)

近藤 凜(2の1)
佐藤壮一郎(2の2)
高森 亜門(2の2)
大塚 優羽(2の1)
(近藤凛さん談)
「カヌー選手の力強い腕の筋肉と迫力ある水しぶきを強調しました。このポスターが、ちぎ国体のホームページをチェックしていただけるよう、QRコードも手描きました。このポスターが、大会を盛り上げるためのお役に立てたら嬉しいです」。

日付	内容
30日(火)	実施
27日(土)	第一回入学試験
18日(木)	第1回入学試験
18日(木)	全校マラソン大会
12日(金)	3年校外学習
11日(木)	全校朝礼
6日(土)	個別相談会
6日(土)	英語検定2次
2日(火)	美化の日
2日(火)	挨拶運動やエコキヤツ運動等は引き継ぎ、今話題となっているSDGsの